

研究レポート No.859 岩手県農業研究センター

トプラメゾン(アルファード液剤)による雑草防除効果

【1 成果概要】

- (1) アルファード液剤は、飼料用トウモロコシ 6~7 葉期に生育中の一年生雑草に対して高い除草効果を示します(表 1)。
- (2) アルファード液剤は、飼料用トウモロコシ 6~7 葉期に生育中の難防除雑草であるアレチウリ及びイチビに対しても高い除草効果を示します。アトラジン(ゲザプリムフロアブル)は、飼料用トウモロコシ 3~4 葉期に生育中のイチビに対して除草効果が低いいため注意が必要です(表 2、写真)。

表1 一年生雑草に対する除草効果と飼料用トウモロコシの乾物収量 試験年次・場所：2013年・滝沢市

区分	薬剤名	処理日	調査日	薬量 (/10a)	水量 (/10a)	雑草生草重量 (g/m ²)					トウモロコシ
						イヌビエ	メシバ	イガホビユ	シロサ	スベリヒユ	乾物収量(kg/10a)
完全除草区	完全除草		(6/12手取り除草)			0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1710 (100)
無処理区	無処理	-	7/17	-	-	100 (100)	91 (100)	1432 (100)	474 (100)	313 (100)	1111 (65)
アルファード区	アルファード液剤	6/17	(処理30日後)	150ml	100L	0 (0)	1 (1)	0 (0)	3 (1)	2 (1)	1781 (104)

- * 供試品種：36B08(RM106)、播種日：5/21、収量調査日：9/6
- * 除草剤処理時の植生・生育状況…トウモロコシ 37.0cm(6.7葉)、イヌビエ 17.7cm、メシバ 6.8 cm、イガホビユ 8.7 cm、シロサ 8.8 cm、スベリヒユ 5.2 cm
- * 雑草生草重量について、0内の数値は無処理区を 100 としたときの値 (各試験区 2 反復)
- * トウモロコシ乾物収量について、0内の数値は完全除草区を 100 としたときの値

表2 難防除雑草に対する除草効果と飼料用トウモロコシの乾物収量 試験年次・場所：2016年・八幡平市

区分	薬剤名	処理日	調査日	薬量 (/10a)	水量 (/10a)	雑草生草重量 (g/m ²)		7月26日時点の アレチウリ本数(/m ²)	トウモロコシ
						アレチウリ	イチビ		乾物収量(kg/10a)
無処理区1	無処理	-	7/5	-	-	194 (100)	13 (100)	-	-
ゲザプリム区	ゲザプリムフロアブル	6/22	(処理13日後)	200ml	100L	5 (2)	6 (45)	0.02	1339
無処理区2	無処理	-	7/13	-	-	404 (100)	37 (100)	-	-
アルファード区	アルファード液剤	6/29	(処理14日後)	150ml	100L	47 (12)	5 (14)	0	1475

- * 供試品種：P9400(RM100)、播種日：5/28、収量調査日：9/29
- * 5/28 全処理区にエコトップ乳剤(600ml/10a)を処理、ゲザプリム区のアレチウリは雑草調査後(7/5)に全て抜き取った
- * 除草剤処理時の植生・生育状況…
 無処理区 1 およびゲザプリム区：トウモロコシ 25.2 cm (3.8 葉)、アレチウリ 21.4 cm、イチビ 4.8 cm(イチビのみ 6/15 時点の草丈)
 無処理区 2 およびアルファード区：トウモロコシ 42.1 cm (6.9 葉)、アレチウリ 31.5 cm、イチビ 4.8 cm(イチビのみ 6/15 時点の草丈)
- * 雑草生草重量について、0内の数値は無処理区を 100 としたときの値 (各試験区 3 反復)
- * アレチウリ本数は薬剤処理時に生育していた個体のうち 7 月 26 日時点で生育していた個体数を示す



写真 アルファード液剤の殺草効果(処理 6 日後)

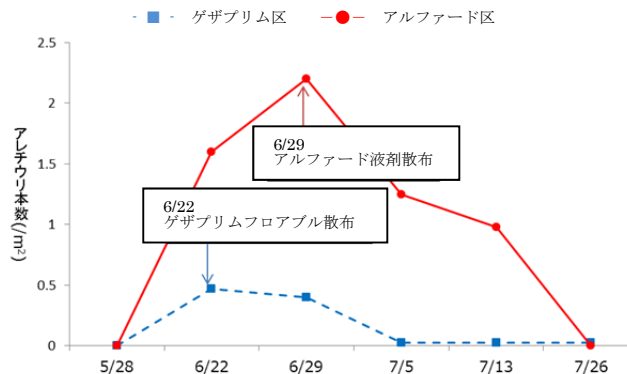


図 1 薬剤処理時に生育していたアレチウリ発生本数の推移

【2 留意事項】

- (1) アルファード液剤はツユクサ、カヤツリグサ、イタリアンライグラス、エノキグサなどには除草効果が劣ります。また、トウモロコシ以外の作物には強い薬害を生じるので注意してください。
- (2) 除草剤処理による殺草には、アルファード液剤は 4 週間、ゲザプリムフロアブルは 2 週間程度を要します(図 1)。
- (3) アレチウリは除草剤処理後も発芽・生育するので茎を切断または抜き取るなどの対応を行い、種子生産の抑制や被害の軽減に努めてください。
- (4) アルファード液剤は既存除草剤(ゲザプリムフロアブルやワンホープ乳剤など)と比較し、使用可能な期間は長いですが単位面積当たりの薬剤費は高いので、薬剤の使用時期並びに対象雑草を最新の岩手県農作物病害虫・雑草防除指針を参考に検討して既存除草剤と使い分けてください。